

CITY OF YOKOHAMA

日本港湾として初受賞！ 横浜市が最優秀賞を獲得

～2025 国際港湾協会サステナビリティアワード～

2025年10月9日
市長定例記者会見



横浜市では、築き上げた海外都市とのネットワークを生かし、 世界目線の政策を重層的に推進

世界をリードする循環型都市への移行

世界水準の観光都市への磨き上げ

グローバル教育の推進

国連をはじめとする国際的な機関の誘致・連携強化 など

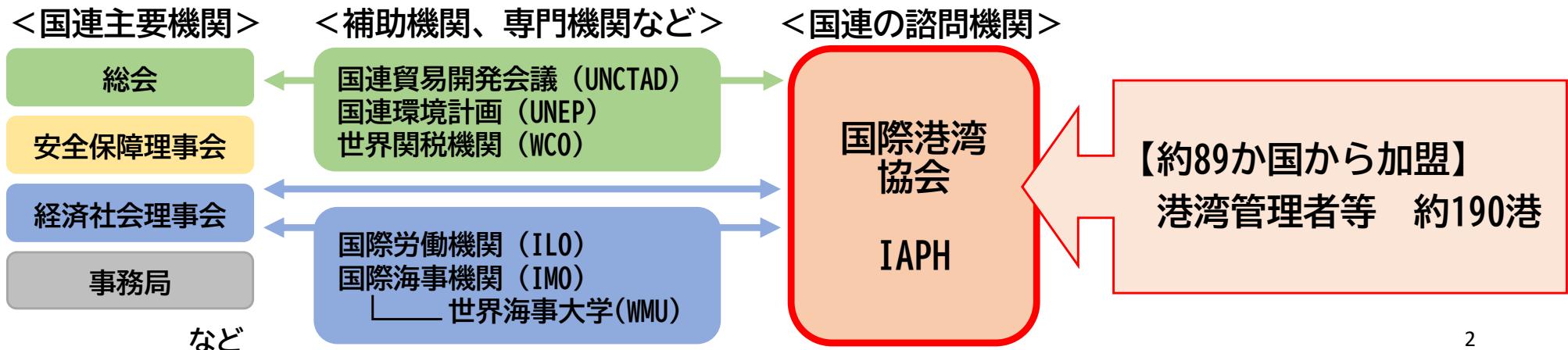
国際港湾協会サステナビリティアワードとは



- ▶ 全世界の港湾を代表する「国際港湾協会」が、世界各地の港湾から脱炭素、インフラ、健康安全など6つのカテゴリー※でプロジェクトを募集。
- ▶ 専門家の審査や一般投票を経て、最優秀賞(Winner)が選ばれる。
- ▶ 今回で第7回目の開催。

※ 気候変動とエネルギー、インフラストラクチャー、デジタル化、コミュニティビルディング、環境保護、健康・安全及びセキュリティ

国際港湾協会 (International Association of Ports and Harbors) とは



国際港湾協会サステナビリティアワードとは



専門家の審査（審査委員会）とは

国連貿易開発会議(UNCTAD)	人材開発・貿易訓練部チーフ
世界海事大学(WMU)	学長
国連気候チャンピオンチーム	海運リード兼ロイド・レジスター・サステナビリティ担当グローバル責任者
南部アフリカ開発銀行	運輸インフラ部門スペシャリスト
南カリフォルニア大学	政策・工学実務教授（元IAPH会長・元ロサンゼルス港湾局長）

その他海事・物流関係機関など、様々な国・組織の専門家15名で構成される。

歴代受賞港

ハンブルク港（ドイツ）、ロングビーチ港（米国）、釜山港（韓国）、
アントワープ・ブルージュ港（ベルギー）、バルセロナ港（スペイン）
アムステルダム港、ロッテルダム港（オランダ）など

気候変動とエネルギー(Climate and Energy)部門で受賞



- ▶ 横浜港におけるカーボンニュートラルポートの形成に向けて、官民連携を通じた様々な取組を推進する包括的なプロジェクトについて紹介。



横浜港が目指すカーボンニュートラルポート構想



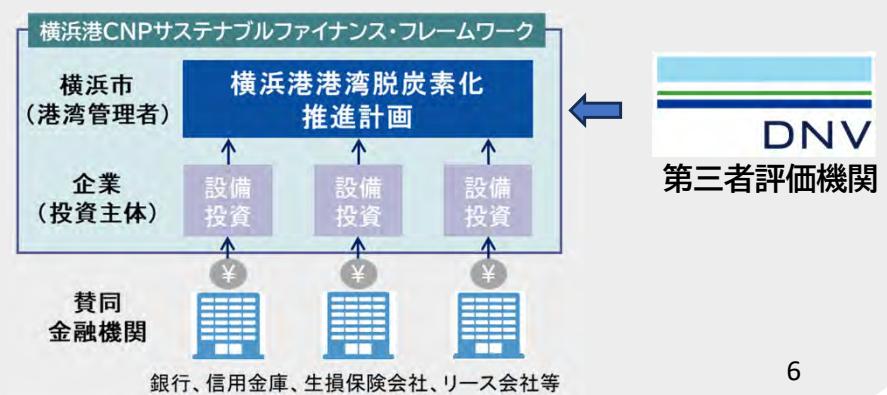
気候変動とエネルギー(Climate and Energy)部門で受賞



- ▶ 関係者のネットワークの協力を得て、臨海部に立地する企業や公共ターミナル等における他に類を見ない42主体121事業の港湾脱炭素化促進事業や、この計画を推進する新たな金融支援スキームについて打ち出しています。
- ▶ こうした取組が評価され、日本港湾としては初の受賞

金融支援スキーム（横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワーク）

港湾脱炭素化促進事業に位置付けた、民間企業の取組における資金調達時に、国際基準に合致したサステナブルファイナンスにアクセスしやすくすることで、民間企業の脱炭素の取組を金融面から後押しするスキーム



授賞式で使用した取組の紹介動画

The Port of Yokohama



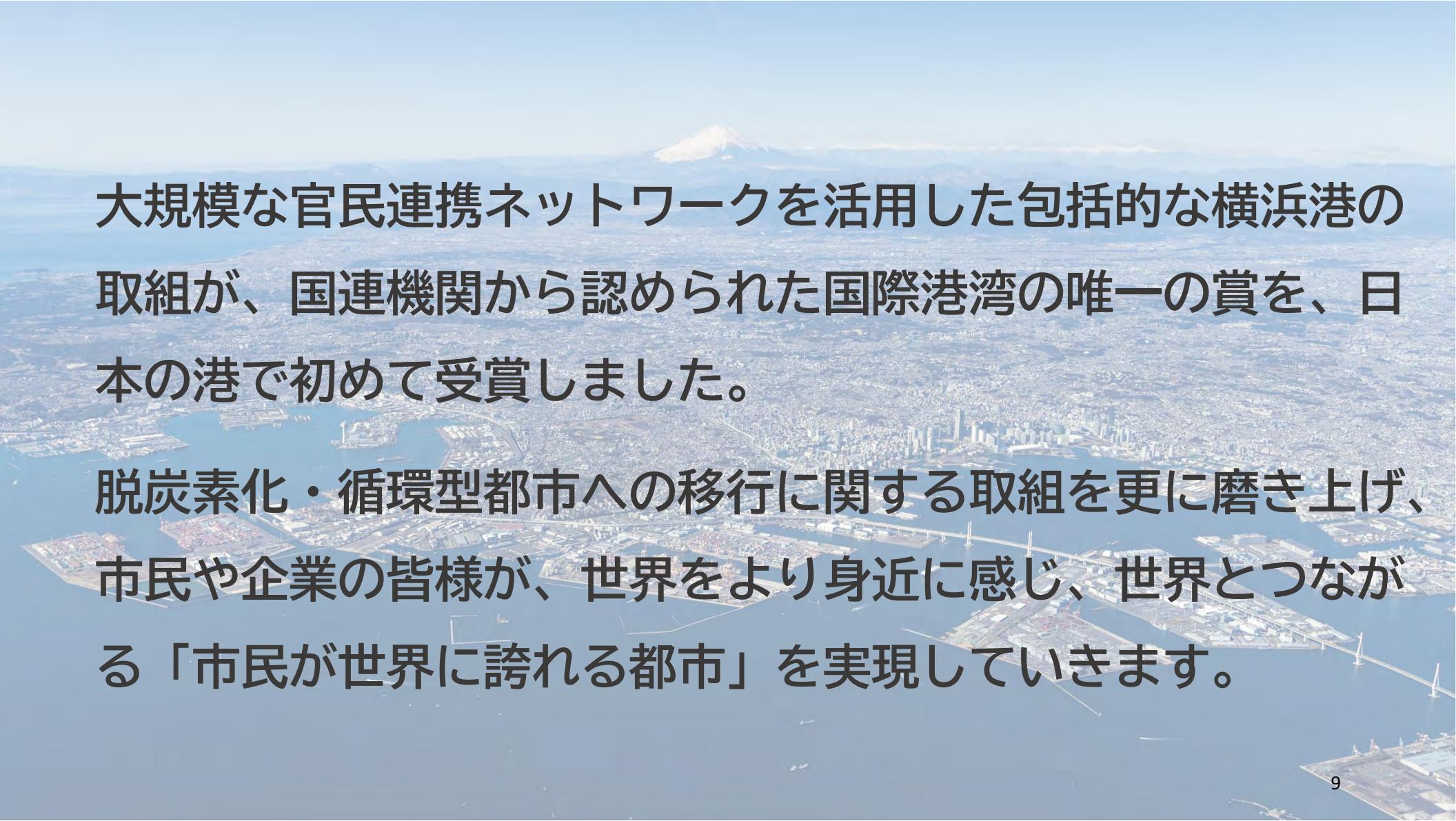
5. 審査員コメント



- ▶ *"Very holistic project, targets port operations, alternative fuels and energy, green finance, and marine ecosystems."*
港湾運営、代替燃料・エネルギー、グリーンファイナンス、海洋生態系を対象とする非常に包括的なプロジェクトである。
- ▶ *"Large stakeholder network and I liked the financing element which made the plan stand out from the other plans and strategies."*
大規模なステークホルダーネットワークであり、資金調達要素が本計画をその他の計画や戦略から際立たせていた点が気に入った。

昨日(10月8日)に神戸市で開催された「世界港湾会議」にて発表され、授賞式が開催





大規模な官民連携ネットワークを活用した包括的な横浜港の取組が、国連機関から認められた国際港湾の唯一の賞を、日本の港で初めて受賞しました。

脱炭素化・循環型都市への移行に関する取組を更に磨き上げ、市民や企業の皆様が、世界をより身近に感じ、世界とつながる「市民が世界に誇れる都市」を実現していきます。